



種名：ヌマチチブ *Tridentiger brevispinis*

分類：在来種 回遊魚 千葉県：一般保護生物

○大きさ

- 成魚：5～15cm

○生息箇所（すみか）

- 利根川の下流部や霞ヶ浦や関東平野に広く生息しています。
- 流れの緩やかな場所を好みますが、選択できる場所が広い種です。

○生態（どんな生活をしているか）

- 雑食性(ざっしょくせい)で付着藻類(石等に生えるも)や小型の底生動物(アカムシやケンミジンコ等)を食べる。
- 春から初夏(5～7月)にヨシノボリの仲間と同様に石等の障害物の下に卵をうみつけます。

○釣りや漁業

- 釣りはマハゼ等と一緒にハゼ釣りです。
- 餌はミミズやゴカイ等でよく釣れます。
- 漁業や水産利用(すいさんりよう)は殆どありません。

○地域利用

- ヌマチチブはダボハゼといわれて、ハゼ釣りの外道です。
- タナゴやフナ、モツゴ等の小魚はまとめて佃煮(つくだに)にすることが多いそうです。煮あがってから2日寝かせたほうがおいしいそうです。